

令和7年1月21日

報道機関各位

公益社団法人 福井県観光連盟
担当：井関、渋谷
電話：0776-23-0182
E-mail：iseki@fukuioyado.com

令和6年度 福井県DMOサミットを開催します

(公社)福井県観光連盟では、北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を持続させるため、デジタルマーケティングに基づく観光商品開発や食・宿泊施設のブランディング、体験・アクティビティの創出や訪日客の県内への誘致などの伴走支援により、DMOや観光プレイヤー等による「稼ぐ」観光地域づくりを推進しております。

約2か月後に迫るEXPO2025大阪・関西万博や、今後の中部縦貫自動車道の開通等に向けた更なる観光への機運向上と、コンテンツ造成の重要性や需要を生むための仕組みづくりを学ぶため、今回4回目となる「福井県DMOサミット」を開催します。

第1部・第2部では、DMOや観光事業者による報告、第3部では、日本国内50カ所以上の地域において「観光まちづくり」の支援を経験している特定非営利活動法人 自然体験学校の若林伸一（わかばやししんいち）講師による『「観光まちづくり」で地域で儲ける仕組みをつくる』の講演がございます。

報道機関の皆様におかれましては、是非、ご取材いただけますよう、何卒よろしくお願ひします。ご取材いただける場合は、誠に恐縮ですが、2月12日（水）15：00までに別紙によりFAXをお願い致します。

記

行事名：令和6年度 福井県DMOサミット

日時：令和7年2月14日（金）13：30～16：30

第1部 福井県DMOによる観光地域づくり (13:35～14:15)

第2部 観光事業者による観光コンテンツづくりの事例 (14:15～14:55)

休憩 (14:55～15:10)

第3部 観光プレイヤーズ・ミーティング (15:10～16:10)

NPO 法人自然体験学校理事長 若林 伸一

「観光まちづくり」で地域で儲ける仕組みをつくる

場所：武生商工会館4階パレットホール（越前市塚町101）

(別紙)

福井県観光連盟 井関 行き (FAX:0776-23-3715)

2/14 福井県DMOサミット 取材希望一覧

社名	氏名	連絡先 (携帯)	カメラ テレビカメラ	備考

2月12日(水) 15:00までに福井県観光連盟 井関までご連絡願います。



福井県 DMOサミット

～活力ある観光地域の創造を目指して～

福井県において活動する観光関係事業者、DMO、観光プレイヤー、行政等が一堂に会し、稼ぐ観光事業の実現に向けて、コンテンツ造成の重要性や需要を生むための仕組みづくりを学ぶため、本サミットを開催します。

プログラム

・開会あいさつ

第1部

・福井県DMOによる観光地域づくり

第2部

・観光事業者による観光コンテンツ
づくりの事例

第3部

・観光プレイヤーズ・ミーティング
・ネットワーキング

令和7年 **2.14** **金**
13:30～16:30

開催
場所

武生商工会館4階パレットホール
越前市塚町101

参加
対象者

県観光連盟会員、市町・観光協会職員等、
DMO、観光事業者、まちづくり会社、
報道機関

参加お申込み

下記QRコードを読み取り、お申し込みください。



※災害や降雪等の状況に応じ、中止または
オンライン開催へ変更となる可能性がござ
います。

※会場の都合により、飲食の持ち込みは禁
止とさせていただきます。

お問い合わせ

公益社団法人 福井県観光連盟 観光地域づくり推進事業部
〒910-0004 福井県福井市宝永2丁目4-10
福井県宝永分庁舎2階

☎ 0776-23-0182

<https://www.fuku-e.com>



13:30~13:35

開会あいさつ

畑中 容子 公益社団法人福井県観光連盟 専務理事 畑中 容子

第1部 福井県DMOによる観光地域づくり (13:35~14:15)

13:35~14:05

佐竹 正範 公益社団法人福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー

- ・北陸新幹線開業の振り返り
- ・福井県観光の現状と変化
- ・観光DXコンソーシアムの活動報告

14:05~14:10

於保 孝志 公益社団法人福井県観光連盟 観光ブランドアップ・スーパーバイザー

- ・観光地域づくり補助金の事例を基にした説明

14:10~14:15

福井県DMO観光で稼ぐプレイヤー支援体制の紹介

折原 直廣 公益社団法人福井県観光連盟 観光サステナビリティ・エキスパート

筒井 二郎 公益社団法人福井県観光連盟 インバウンドアドバイザー

ピエールレルー 公益社団法人福井県観光連盟 インバウンドマーケティングプランナー



佐竹 正範



於保 孝志



折原 直廣



筒井 二郎



ピエールレルー

14:15~14:55

第2部 観光事業者による観光コンテンツづくりの事例 (14:15~14:55)

観光プレイヤーによるコンテンツづくりの事例

時岡 壮太 株式会社DEKITA 代表取締役

瀨本 絵里 一般社団法人SOE 専務理事

休憩 (14:55~15:10)

15:10~16:10

第3部 観光プレイヤーズ・ミーティング (15:10~16:10)



若林 伸一 (わかばやし しんいち) NPO法人 自然体験学校 理事長

「観光まちづくり」で地域で儲ける仕組みをつくる

【講師紹介】

東京都葛飾区出身。1985年から体験観光にいち早く目を付け、これまで80万人以上の観光客へ自身が考案する体験プログラムを提供してきた。新型コロナウイルス流行前まで沖縄の観光ゼロの町において年間4~4.5万人の修学旅行生をはじめとする体験観光客の受入れを実現。再現性の高いノウハウを活用し、日本国内50か所以上の地域において「観光まちづくり」の支援を経験する。70以上の所有資格(空、水、陸、環境、レクリエーション等)を活かし、地域資源や地域の課題を活用した「地域密着型」の体験商品作りを得意とする。

16:10~16:30

ネットワーキング

参加者の皆様には、グループに分かれていただき、配布した自己紹介シートを活用しながら、自社のコンテンツ造成について、意見交換や情報交換を行っていただきます。